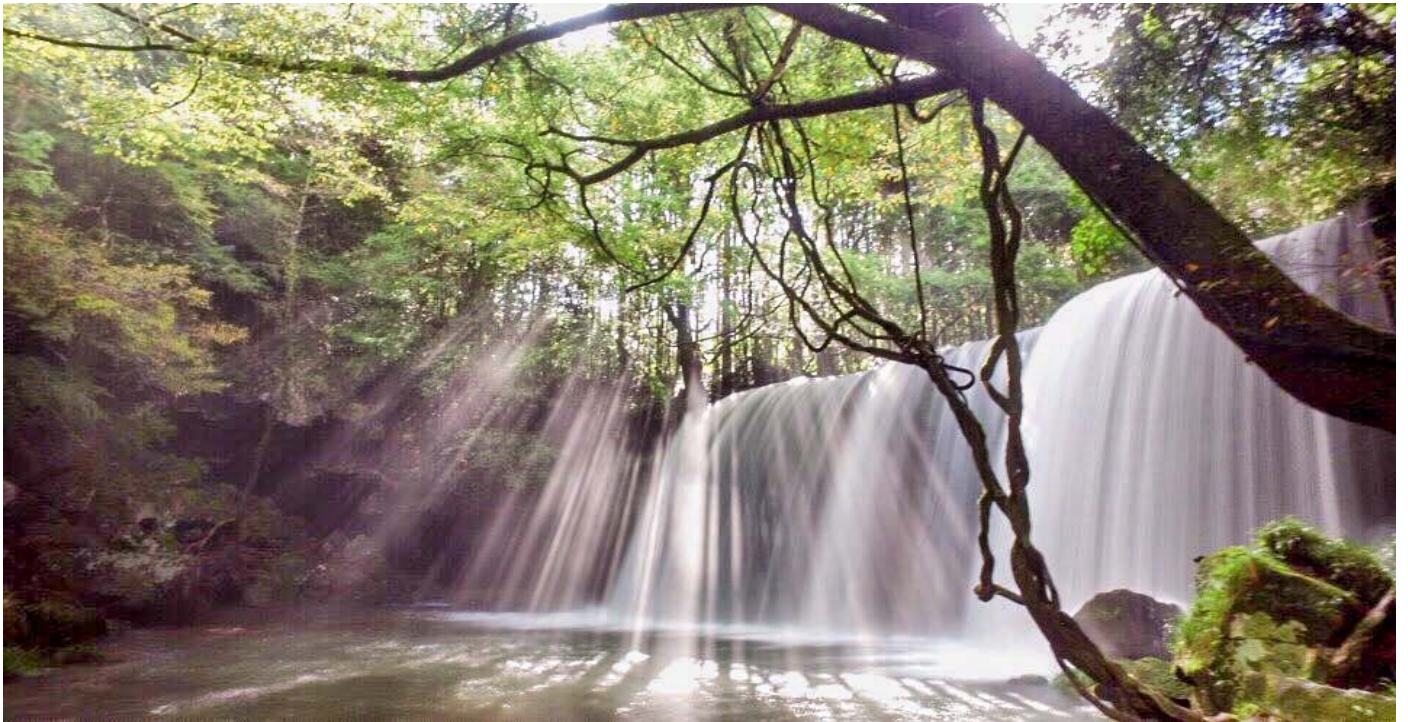


環境報告書 2018

Environment Report



『人と技術』を活かし、
常に社会から必要とされる集団を目指すと共に、
豊かな環境作りに貢献します。



当社は、ステークホルダーの皆様の期待に応えるため、常に『品質を確保し、よいものを、安全に、より安く、より早く完成させる』という気持ちを持ち、社員一丸となり事業に取り組んでおります。

よいものを作って初めて社会に貢献でき、認められ続けることで存在価値のある会社になります。

しかし、よいものを作るだけでは、社会に認められる集団にはなり得ません。
当社では社会から必要とされる企業となるために、社会的ニーズである環境への取り組みにも力を注いでおります。

本報告書を通じて、私達の環境への取り組みを理解していただくとともに、皆様からの声を聞かせていただける機会になればと思っております。

企業価値を生み出す源泉である『人と技術』を大切にしながら、OSJBホールディングスグループの中核企業として、更なる価値向上に努めてまいります。

これからも、ステークホルダーの皆様方への感謝の気持ちと謙虚さを忘れずに事業に邁進してまいりますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

オリエンタル白石株式会社
代表取締役社長

大野 達也

目次・会社概要

目次

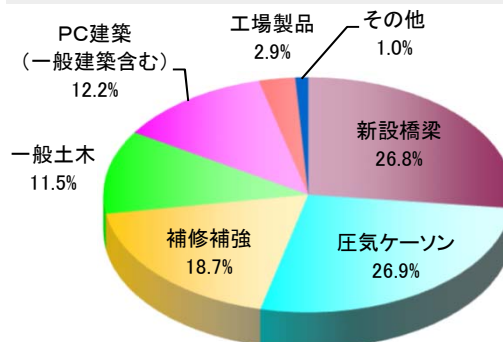
社長挨拶	1	環境に配慮した技術開発	9
目次・会社概要	2	品質マネジメントシステムと	10
環境経営	3	労働安全衛生への取り組み	11
環境目標	4		
環境マネジメントシステム	5		
法令の遵守	6	地域とのコミュニケーション	12
事業活動とマテリアルフロー	7		16
廃棄物排出量と低減対策	8		

会社概要

社 名	オリエンタル白石 株式会社
本 社 所 在 地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
代 表 者	代表取締役社長 大野 達也
創 業	1952年10月21日
資 本 金	5億円
従 業 員	650人(2018年3月31日現在)
事 業 所	本社、東北支店、東京支店、大阪支店、福岡支店 技術研究所、名古屋営業支店、広島営業支店、四国営業支店、沖縄営業支店 22営業所、3工場、5機材センター
事 業 内 容	プレストレストコンクリートの建設工事および製造販売 ニューマチックケーソンの建設工事 補修補強の建設工事 耐震補強建築工事の設計・施工 建設資材の販売 太陽光による発電事業及びその管理・運営並びに電気の供給、販売

売上構成

2017年4月1日～2018年3月31日(第67期事業年度)



作成及び発行について

発 行 目 的	社内外の皆様へ、当社の環境関連情報等を開示すること
対 象 範 囲	オリエンタル白石株式会社 本支店、技術研究所、営業所、工場、機材センター、各工事作業所
対 象 期 間	2017年4月1日～2018年3月31日 (第67期事業年度)
対 象 分 野	対象組織の環境活動
発 行 責 任 者	取締役 執行役員 (安全・品質・環境担当) 橋本 幸彦
担 当 部 署	安全・品質・環境管理室
参 考 資 料 名	「環境報告ガイドライン (2012年版)」 環境省

経営理念

人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団を目指す

【行動規範】

私達の“意義”と“責任”と“可能性”

オリエンタル白石
～私達が、私達であるために～

1. 私達は、「顧客第一の」^{オリエンタル白石}私達であるために、常に高品質、高機能の建設物を提供し、カスタマーやユーザーのニーズに応える集団であり続けます。
2. 私達は、「競争力豊かな」^{オリエンタル白石}私達であるために、技術の開発と革新に努めて、個人の能力や組織力を高めるとともに、時代や社会の変化に対して、スピーディーかつ的確に対応できる集団であり続けます。
3. 私達は、「社会から必要とされる」^{オリエンタル白石}私達であるために、コンプライアンスを徹底し、地球環境に配慮しながら良質の社会資本を構築・整備することにより、社会に貢献する集団であり続けます。
4. 私達は、「安定して発展する」^{オリエンタル白石}私達であるために、信用と評価を大事にしながら、堅実な経営、情報の開示に努め、活力あふれる集団であり続けます。
5. 私達は、「信頼しあえる」^{オリエンタル白石}私達であるために、快適で働きやすい職場を形成し、お互いの人格を尊重して、能力やモチベーションを高めあい、所属する誇りと《愛着ある帰属感》に満ちた集団であり続けます。

品質・環境方針

【基本理念】

わが社の事業活動である土木構造物の設計、製造、施工及び建築構造物の製造、施工により提供するサービスは、社会資本の整備・維持や地域社会及び地球環境に深く関わっています。

その関わりの中で、経営理念「人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団を目指す」に基づき、自らの“意義”と“責任”と“可能性”を発揚する行動規範に則って、能力・資質の向上、システムの維持、継続的な改善、意識の高揚、安全で豊かな環境作りを目指し、次のことを行います。

【基本方針】

- ① 社会のニーズに応える品質と信頼を提供し、社会資本の整備・維持に貢献する。
- ② 社会的責任の強い自覚のもと、関係法令及びわが社が同意した協定・要求事項を順守すると共に活動を通じて経営理念を実現する。
- ③ 設計、製造、施工のイノベーションを実行して、高品質・低コスト化を成し遂げ、この飽くなく継続に努める。
- ④ 省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクル活動を推進し、環境保全と汚染の予防を自らに課せられた責務として、積極的に取り組む。
- ⑤ 省資源、省エネルギー、低炭素を可能とする技術開発に尽力し、地域社会に貢献するとともに、地球環境に配慮した技術提案を行う。

わが社は上記を確実なものとするために、社員ならびに関係者に方針を周知し、各部門毎で目標を設定・管理します。常にマネジメントや品質・環境管理システムが円滑かつ効果的に機能するよう、PDCAを通じた改善活動を全ての社員ならびに関係者が一丸となって行います。

2018年4月1日

環境目標

当社では、『環境報告書2018』にて、環境情報の公開を行います。当社は経営理念である「人と技術を活かし、常に社会から必要とされる集団」の実現を目指して、環境活動の目的・目標を以下のように掲げます。

環境経営の推進に努め、環境保全への取り組みを積極的に情報公開することにより社会に対する説明責任と環境コミュニケーションを図ります

【目標】『環境報告書2018』による環境情報公開

工事施工段階におけるCO₂排出量の削減目標設定とその実現に向けての行動を展開します

【目標】 日建連のCO₂排出量調査活動への参加によるデータ収集と蓄積

混合廃棄物の排出量削減により、最終処分量の削減を図ります

【目標】 建設混合廃棄物の排出量を前年比10%削減

環境に配慮した技術開発に積極的に取り組みます

【目標】 提案・受注による環境活動の実施

環境マネジメントシステム

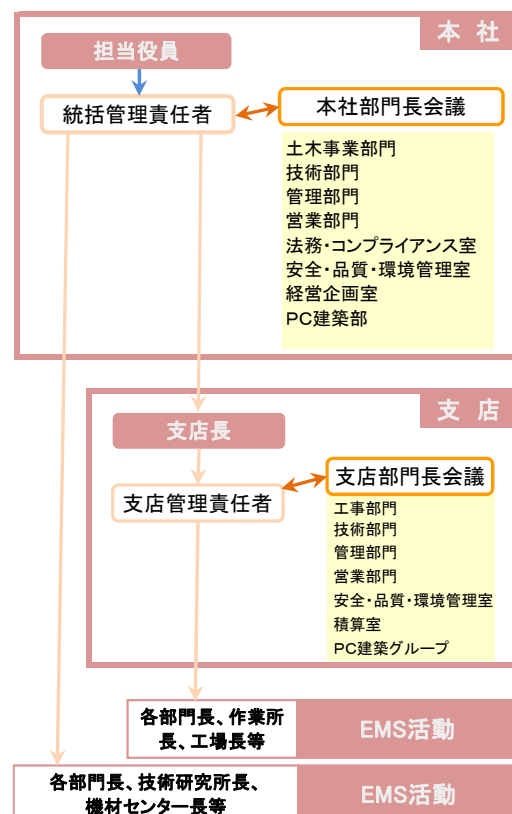
環境マネジメントシステムへの取り組み

当社は2002年から全社の事業活動を対象に環境マネジメントシステムを構築し運用しています。2003年3月31日からISO 14001:1996（JIS Q 14001:1996）に基づく環境マネジメントシステムを取得し、2005年8月に2004年版への改定、2007年10月に合併による全面改訂を実施しました。2018年3月31日からISO 14001:2015（JIS Q 14001:2015）に改定し運用しています。

環境マネジメントシステムの組織体制

担当役員は、全社での環境保全活動を確実に実施し維持するために統括管理責任者を任命しています。全社的な活動の検討は、本社の関係部門長が参加する本社部門長会議にて実施しています。本社での検討結果は、統括管理責任者を通じて各支店長へ展開されます。

支店長は、支店での環境保全活動を確実に実施し、維持するために支店管理責任者を任命しています。支店での活動の検討は、支店の関係部門長が参加する支店部門長会議にて実施しています。支店での検討結果は、管理責任者を通じて各部門長等へ展開され、EMS活動が実施されます。



監査結果

2017年度に行われた内部監査は、上期・中期・下期の3回に分けて実施し、結果は右の通りです。注意事項等については全て改善又は是正処置が実施されました。（監査結果は品質と環境合わせて）

内部監査実施状況

内部監査人員		85 人
内部監査実施	部 門	179 箇所
	作業所	39 箇所
監査結果	不適合	1 件
	注 意	4 件
	推 奨	46 件

外部審査実施状況

EMS第5回再認証及び移行審査	2018年1月16日～2018年1月24日	
認証の継続及び移行の承認日	2018年2月23日	
審査登録機関	一般財団法人 建材試験センター	
審査サイト	本社、東京・大阪各支店	
審査結果	重大な不適合	0 件
	軽微な不適合	4 件
	観察事項	7 件

法規制遵守 環境監視 測定実施状況

事業活動において遵守されなければならない環境法規制は多々あります。環境基本法に定めている「7大公害」及び廃棄物に関する法律が主なものです。

工事作業所では、遵守しなければならない環境法規制を工事着工前に特定し、必要な対策を検討し、実施しています。工場においても遵守しなければならない環境法規制を特定し、規制値をクリアするため管理値を定めて管理しています。



■ ケーソン現場における騒音対策

法律に定める特定建設作業における騒音の抑制のため、ケーソン送気設備を防音ハウスにて覆っています。



■ 工事現場における産業廃棄物の保管

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき産業廃棄物の保管を行っています。



■ 工場における排水測定

水質汚濁防止法に基づき排水時にpH調整を行い高アルカリ水の排出を抑止しています。定期測定の結果、3工場全てにおいて基準値を超える排出がないことを確認しています。



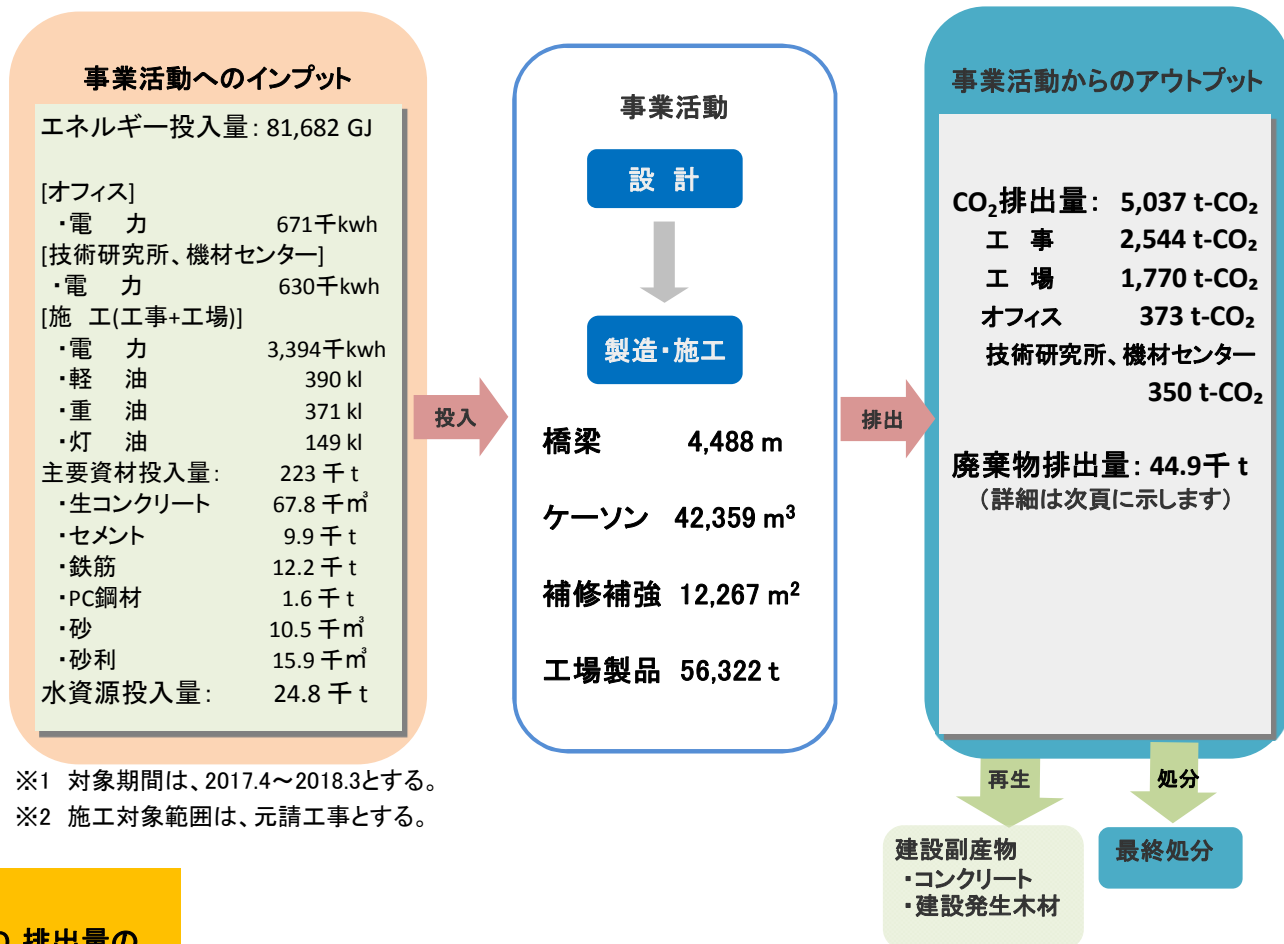
■ 工場におけるリサイクルシステム

コンクリートプラント、ホッパー等の洗いを砂利、砂、水、ケーキ（スラッジの圧搾かす）に分離して一部リサイクルに活用しています。

事業活動とマテリアルフロー

事業活動とマテリアルフロー

事業活動におけるエネルギーや資材の使用量、ならびに事業活動の結果排出された物質を計測し、環境負荷を把握することにより、環境負荷の削減活動に取り組んでいます。



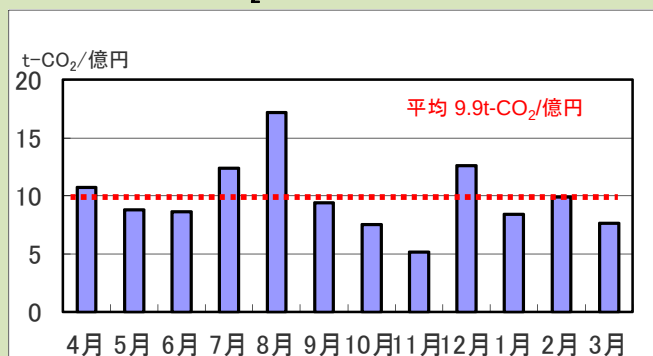
※1 対象期間は、2017.4～2018.3とする。

※2 施工対象範囲は、元請工事とする。

CO₂排出量のモニタリング

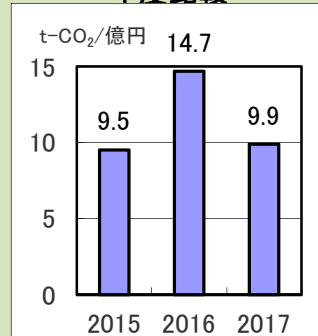
工事におけるCO₂排出量を月々モニタリングしています！

工事におけるCO₂排出量の67期(2017)月別推移



※ 工事出来高当りのCO₂排出量としている。

工事におけるCO₂排出量の年度比較



※ 66期(2016)はシールド工事がCO₂排出量を押し上げる結果となっている。

廃棄物排出量と低減対策

廃棄物排出量

当社67期（2017年4月～2018年3月）に排出した廃棄物は、次の通りです。

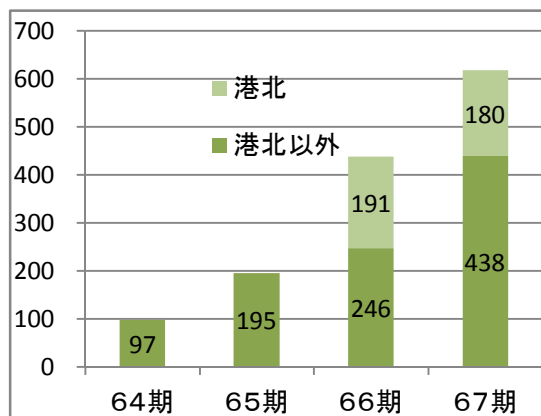
下部工の現場（港北作業所）の掘削土のほとんどを建設汚泥として排出しているため、昨年より排出量が増加しました。今後はリサイクルの推進・混合廃棄物の減量等の取り組みを全社的に展開し、最終処分量の減少を目指します。

【67期の廃棄物排出量の実績】

（単位 t）

品 名	数 量
コンクリートがら	7,029
アスコンがら	3,851
その他がれき類	4,883
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	5,524
廃プラスチック類	727
金属くず	236
紙くず	177
木くず	2,361
繊維くず	5
建設汚泥（港北作業所以外）	789
建設汚泥（港北作業所）	18,100
混合廃棄物（安定型）	237
混合廃棄物（管理型）	975
その他	1
合 計	44,894

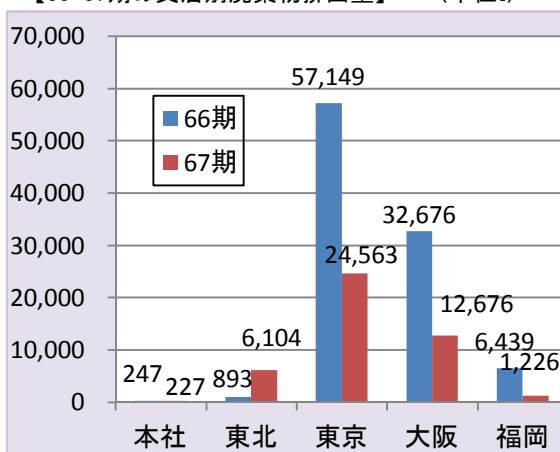
【最近の廃棄物排出量の推移（完工高1億円当り）】
（単位t/億円）



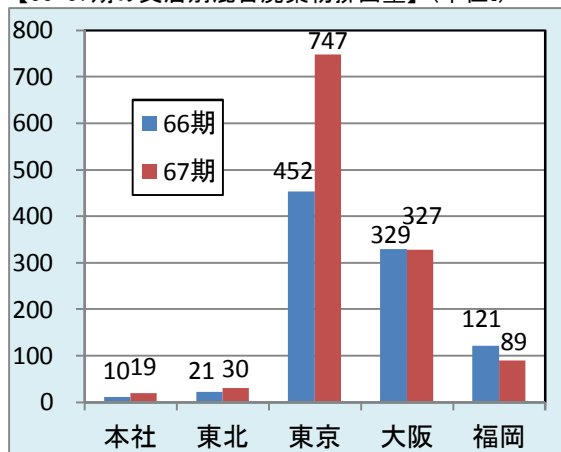
注）・64期は 2014年4月～2015年3月
・65期は 2015年4月～2016年3月
・66期は 2016年4月～2017年3月
・67期は 2017年4月～2018年3月

【66・67期の支店別廃棄物排出量】

（単位t）



【66・67期の支店別混合廃棄物排出量】（単位t）



注）混合廃棄物は65-66期比3.5%削減となったが
66-67期比では29.9%の増加となった

【最終処分量低減への取り組み】

最終処分量低減への取り組みとして、3R運動（Reduce—Reuse—Recycle）が推進されていますが、作業所においては以下の取り組みを積極的に行っています。

① 分別活動の推進

② 混合廃棄物の削減

③ コンクリート・アスコン・建設発生木材の全量リサイクル化

④ 納入資材の簡易梱包化

廃棄物排出量の低減対策

高炉スラグ細骨材

Blast-furnace slag
fine aggregate

コンクリート構造物建設における環境への取り組み

製鉄所から副産される高炉スラグの有効利用

無尽蔵にあると思われていた良質な天然の砂も、年々入手が難しくなっており、コンクリートの強度や構造物の耐久性の低下が懸念されています。このため高炉スラグから造られる砂が注目されています。高炉スラグ細骨材（以下、BFS）は、昭和56年にJIS A 5012として認定され、さらに日本建築学会、土木学会の指針にも定められました。現在では、JIS A 5011-1（コンクリート用スラグ骨材）として改定され、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）にも定められています。高炉スラグ細骨材を天然砂の代替として使用することにより、天然骨材の使用量を低減することによる環境負荷低減効果、さらに、コンクリートの長期強度の増進、塩分浸透抵抗性の向上、凍結融解抵抗性の向上などが期待されており、これらの性能向上効果を付与したプレキャストコンクリート製品の製造を目指した研究開発に取り組んでいます。

現在、高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートのPC床版への適用性について検討中であり、高炉スラグ細骨材を用いたPC床版の輪荷重走行試験（昨年度は土木研究所、本年度は施工技術総合研究所）を実施しています。PC桁や壁高欄などの実構造物への適用は完了しており、これらに続けてPC床版への適用を目指しています。

【高炉スラグ細骨材用いた場合の性能向上および環境負荷低減効果】

天然砂の
使用量の削減

長期強度の増進

塩分浸透抵抗性
の向上

凍結融解抵抗性
の向上

【輪荷重走行試験体の水準】

- ・床版厚さ(180mm)
- ・細骨材の種類(BFS砂)
- ・間詰め有り

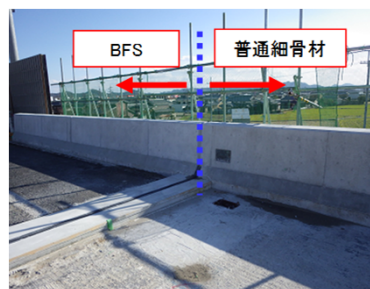


施工技術総合研究所での輪荷重走行試験

【実構造物への適用性の検討】



ポストテンションPC桁(枝桁)



橋梁上部工の壁高欄

フライアッシュ

Fly-ash

コンクリート構造物建設における環境への取り組み

火力発電所から副産されるフライアッシュの有効利用

フライアッシュは、コンクリートに混和するとセメントの使用量を減じることができることから水和熱を低減でき、硬化時の反応によりコンクリートの長期的な強度増進や構造物の耐久性を向上することが可能な材料です。そのため、ダムなどの温度ひび割れが問題となる構造物で活用される事例がこれまでに多く報告されています。一方で、フライアッシュを混和したコンクリートは、初期強度の発現が小さく、プレストレストコンクリート（以下、PCとする）構造物など早期に強度を求められる構造物にはその利用が活発ではありませんでした。しかしながら近年では、PC構造物などへの適用検討や報告がされるようになりました。当社においても、PC構造物への適用を達成しつつ、混和するフライアッシュの量を多くすること（従来：セメント質量の15%程度、当社：セメント質量の25%）を特徴とした、環境負荷をより低減でき、構造物の耐久性をより向上できるコンクリートを提供することを目的に、検討を進めてきました。

検討の結果、早期に強度が発現しプレストレスを導入できるコンクリートの配合を開発しました。このフライアッシュを混和したコンクリートの特徴は、フライアッシュの混和量が多いことから、従来の混和量のフライアッシュよりも劣化に対する抵抗性に優れていることです。また、実物大のPC桁を用いて、1年以上に亘る屋外暴露を行って変形挙動を確認し、曲げ破壊試験を行い力学的性能を確認したところ、従来の早強ポルトランドセメントを用いたPC桁と同程度の変形性状と耐荷力を有していることを確認しました。

以上から、フライアッシュを用いたPC構造物の提供によって、産業副産物をより多く使用し、かつ高耐久な構造物を提供することが可能となり、環境負荷の低減に貢献できると考えております。

【フライアッシュを用いた場合の性能向上および環境負荷低減効果】

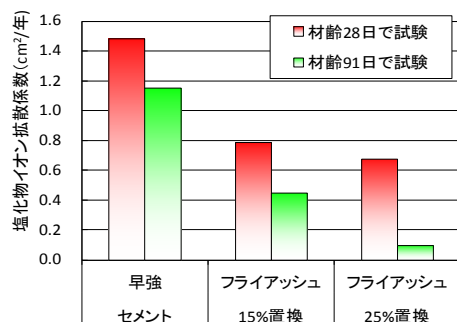
セメント使用量の削減
〔セメント製造に伴う
CO₂の削減〕

長期強度の増進

塩化物イオン
浸透抵抗性の向上

アルカリシリカ反応
抵抗性の向上

【劣化に対する抵抗性の評価例】



※値が小さい程、侵入抵抗性が高い。

塩化物イオンの侵入抵抗性の評価

【実物大PC桁の評価】



フライアッシュを用いたPC桁の静載荷試験による力学的性能評価

品質マネジメントシステムと労働安全衛生への取り組み

品質マネジメントシステムへの取り組み

当社の品質マネジメントシステムは、1997年10月にISO9001によるマネジメントシステムの認証登録を行い、2007年12月に合併による新たな組織に準じたシステムの登録を行いました。また、2018年3月31日からISO 9001:2015（JIS Q 9001:2015）に改定し運用しています。このシステムにより、当社は橋梁その他の土木構造物の新設工事や補修補強工事及び建築構造物の耐震補強工事において、当社の提供する製品及びサービスを同じ品質マネジメントシステムの運用により質の向上を図っています。

外部審査結果

2017年度に行われた外部審査の結果は右の通りです。不適合事項については全て改善又は是正処置が実施されました。

QMS第7回再認証及び移行審査	2018年1月16日～2018年1月24日	
認証の維持継続の承認日	2018年2月8日	
審査登録機関	一般財団法人 建材試験センター	
受審サイト	本社、東京・大阪各支店	
審査結果	重大な不適合	0 件
	軽微な不適合	0 件
	観察事項	5 件

労働安全衛生マネジメントシステムへの取り組み

労働安全衛生マネジメントシステムは、2018年2月28日～3月1日の第1段階審査（事前審査）と、2018年5月21日～5月30日の第2段階審査（実地審査）を経て、OHSAS 18001:2007 の認証を受け、2018年6月23日に登録を行いました。

このシステムにより、当社は事業所で働く全ての人々の「安全の確保と健康の増進」を図り、安全衛生に関する規定等を遵守し、安全衛生管理活動に努めて全社員の協力の下「環境に配慮して社会に貢献する」「快適な職場環境を形成する」ことを目指していきます。

外部審査結果

2018年度に行われた実地審査の結果は右の通りです。不適合事項については全て改善又は是正処置が実施されました。

OHSAS実地審査	2018年5月21日～2018年5月30日	
認証の承認日	2018年6月22日	
審査登録機関	一般財団法人 建材試験センター	
受審サイト	本社、東京・大阪各支店	
審査結果	重大な不適合	0 件
	軽微な不適合	4 件
	観察事項	7 件

平成30年度(68期) 安全衛生管理目標

- 基本目標 【無事故・無災害の達成】
【快適な職場づくりで健康増進】
- 管理目標 【死亡・重篤災害ゼロ】
【度数率0.5以下・強度率0.02以下】
【墜落災害ゼロ】

地域とのコミュニケーション



オリエンタル白石株式会社



地域

オリエンタル白石では社会・地域との関わりを大切にし、地域住民への説明会や見学会の開催、地域の清掃活動、各種イベントへの参加や支援を積極的に行っております。また、環境関連展示会等への出展等を通して、社の環境保全活動を広く社内外に発信し、交流を図っています。

清掃活動

■ 本社ビル周辺清掃活動(江東区豊洲)



江東区で行われている『わがまち江東・月いちアダプト』に参加し、豊洲駅周辺の清掃活動を毎月1回行っています。毎年9月に行われる近隣企業と合同で行う江東区主催の『豊洲駅前周辺美化啓発キャンペーン』にも参加しました！

■ 大阪市美化推進ボランティア活動



大阪市美化推進ボランティア活動の一環として、年4回、大阪支店付近の鞆公園及び、四ツ橋筋の清掃活動を実施しました。

■ 鹿児島県「ふるさとの道サポート事業」



鹿児島県「ふるさとの道サポート事業」の一環として、年2回、中央公園～天文館アーケード～金生町までの約3kmの清掃活動を実施しました。



清掃活動実績一覧

2017/4/8	鹿児島県鹿児島市	2017/9/30	静岡県駿東郡小山町
2017/4/10	宮城県仙台市	2017/10/18	東京都江東区豊洲
2017/4/18	東京都江東区豊洲	2017/10/21	福島県相馬市
2017/4/23	群馬県藤岡市	2017/10/23	静岡県駿東郡小山町
2017/4/28	沖縄県那覇市	2017/10/24	沖縄県那覇市
2017/5/14	山口県下関市	2017/10/25	宮城県仙台市
2017/5/16	東京都江東区豊洲	2017/10/25	岩手県盛岡市
2017/5/20	福岡県三井郡大刀洗町	2017/10/25	鳥取県日野郡江府町
2017/5/23	大阪府大阪市	2017/11/5	大分県大分市
2017/5/23	広島県広島市	2017/11/17	静岡県駿東郡小山町
2017/5/27	山口県下関市	2017/11/18	福岡県三井郡大刀洗町
2017/5/29	宮城県仙台市	2017/11/21	東京都江東区豊洲
2017/5/31	沖縄県那覇市	2017/11/21	沖縄県那覇市
2017/6/16	熊本県上益城郡益城町	2017/11/22	福岡県福岡市
2017/6/16	熊本県熊本市中央区	2017/11/27	大阪府大阪市西区
2017/6/20	宮城県仙台市青葉区	2017/11/29	宮城県仙台市青葉区
2017/6/20	東京都江東区豊洲	2017/11/29	岩手県盛岡市
2017/6/28	沖縄県那覇市	2017/12/1	滋賀県大津市
2017/7/1	宮城県気仙沼市	2017/12/1	鹿児島県曽於郡大崎町
2017/7/19	岩手県盛岡市	2017/12/11	熊本県上益城郡益城町
2017/7/19	東京都江東区豊洲	2017/12/15	宮城県本吉郡南三陸町
2017/7/26	宮城県仙台市	2017/12/19	東京都江東区豊洲
2017/7/28	沖縄県那覇市	2017/12/20	広島県広島市
2017/8/3	静岡県駿東郡小山町	2017/12/22	静岡県駿東郡小山町
2017/8/4	宮崎県宮崎市	2017/12/28	沖縄県那覇市
2017/8/4	鹿児島県鹿児島市	2018/1/15	宮城県仙台市青葉区
2017/8/9	宮城県本吉郡南三陸町	2018/1/16	東京都江東区豊洲
2017/8/11	福岡県三井郡大刀洗町	2018/1/17	岩手県宮古市
2017/8/19	山口県山口市	2018/1/26	静岡県駿東郡小山町
2017/8/22	東京都江東区豊洲	2018/1/30	沖縄県那覇市
2017/8/23	宮城県仙台市	2018/2/14	岩手県宮古市
2017/8/31	徳島県徳島市	2018/2/18	群馬県藤岡市
2017/8/31	沖縄県那覇市	2018/2/20	東京都江東区豊洲
2017/9/10	宮城県仙台市	2018/2/23	大阪府大阪市
2017/9/15	宮城県本吉郡南三陸町	2018/2/27	広島県広島市
2017/9/18	静岡県駿東郡小山町	2018/2/27	沖縄県那覇市
2017/9/19	熊本県上益城郡益城町	2018/3/5	徳島県徳島市
2017/9/19	熊本県熊本市中央区	2018/3/9	愛知県名古屋市中区
2017/9/20	大阪府茨木市	2018/3/12	宮城県仙台市
2017/9/26	大阪府大阪市西区	2018/3/13	京都府京都市
2017/9/27	宮城県仙台市青葉区	2018/3/22	東京都江東区豊洲
2017/9/27	岩手県盛岡市	2018/3/24	宮城県本吉郡南三陸町
2017/9/27	東京都江東区豊洲	2018/3/26	熊本県上益城郡益城町
2017/9/27	沖縄県那覇市	2018/3/27	沖縄県那覇市
2017/9/29	宮城県仙台市		

地域とのコミュニケーション

現場見学会

■ 現場見学会(福尾橋)



地元の園児、小学生を対象に現場見学会を行いました。当日は100人以上の参加があり、子供たちには橋面へのお絵かき会を催すなど大変好評でした。

■ 現場見学会(市川橋他床版取替工事)



地元大学の学生を対象とした現場見学会を行いました。工事概要説明や、撤去床版の劣化状況やPC床版の設置状況の見学などから現場への理解を深めていただきました。

■ 現場見学会(戸馳大橋P1ケーソン)



地元の中中学生を対象に現場見学会を行いました。模型を用いたニューマッチックケーソン工法の説明や、遠隔操作によるケーソンショベルの実演、ホスピタルロックにての圧気体験で現場体験をしていただきました。この様子は西日本新聞、熊本日日新聞に掲載されました。

地域とのコミュニケーション

現場見学実績一覧



90
件

2017/4/21	新里橋電防補修(鹿児島県大島郡徳之島町)
2017/4/28	瀬戸橋(鳥取県八頭郡八頭町)
2017/5/11	福尾橋(鳥取県米子市)
2017/5/11	宮池橋(香川県東かがわ市)
2017/5/16	烏川橋梁下部工(群馬県高崎市)
2017/5/17	磐越自動車道 五十母川橋(PC上部工)(新潟県東蒲原郡阿賀町)
2017/5/18	瀬戸橋(鳥取県八頭郡八頭町)
2017/5/19	瀬戸橋(鳥取県八頭郡八頭町)
2017/5/22	磐越自動車道 五十母川橋(PC上部工)(新潟県東蒲原郡阿賀町)
2017/6/1	浜田港上部工事(その3)(鳥根県浜田市)
2017/6/1	西九州大看護部PC(佐賀県小城市)
2017/6/5	磐越自動車道 五十母川橋(PC上部工)(新潟県東蒲原郡阿賀町)
2017/6/7	宮池橋(香川県東かがわ市)
2017/6/15	深谷橋ランプ橋(長崎県佐世保市)
2017/6/17	ハツ場ダム本体工事(群馬県吾妻郡東吾妻町)
2017/6/17	北金井4北高架橋(三重県いなべ市)
2017/6/19	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/6/20	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/6/21	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/6/22	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/6/23	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/6/24	柳島高架橋工事(静岡県駿東郡小山町)
2017/6/27	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/6/27	西市3号橋(山口県下関市)
2017/7/2	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/7/4	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/7/12	蘭牟田瀬戸架橋(鹿児島県薩摩川内市)
2017/7/21	蘭牟田瀬戸架橋(鹿児島県薩摩川内市)
2017/7/24	椿川橋上部工事(山梨県南巨摩郡身延町)
2017/7/30	磐越自動車道 五十母川橋(PC上部工)(新潟県東蒲原郡阿賀町)
2017/8/3	鰐川橋STEP工法(茨城県神栖市下幡木)
2017/9/5	戸馳大橋P1ケーソン(熊本県宇城市)
2017/9/9	宮池橋(香川県東かがわ市)
2017/9/12	今田高架橋敷内地区上部工(福島県相馬市)
2017/9/12	宮ノ谷橋(鳥取県日野郡江府町)
2017/9/15	宮ノ谷橋(鳥取県日野郡江府町)
2017/9/16	大沢第1橋外上部工(岩手県上閉伊郡大槌町)
2017/9/21	今田高架橋敷内地区上部工(福島県相馬市)
2017/9/24	九度山2号橋(和歌山県伊都郡九度山町)
2017/9/30	市川橋他床版取替(兵庫県神崎郡神埼町)
2017/10/11	本名橋鋼殻ケーソン(福島県大沼郡金山町)
2017/10/12	九度山2号橋(和歌山県伊都郡九度山町)
2017/10/12	市川橋他床版取替(兵庫県神崎郡神埼町)
2017/10/13	港川橋(宮城県本吉郡南三陸町)
2017/10/14	市川橋他床版取替(兵庫県神崎郡神埼町)

2017/10/17	港川橋(宮城県本吉郡南三陸町)
2017/10/18	港川橋(宮城県本吉郡南三陸町)
2017/10/18	三森2号橋(福島県郡山市)
2017/10/18	深谷橋ランプ橋(長崎県佐世保市)
2017/10/24	西市3号橋(山口県下関市)
2017/10/24	宮池橋(香川県東かがわ市)
2017/10/25	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2017/10/25	今田高架橋敷内地区上部工(福島県相馬市)
2017/10/25	宮池橋(香川県東かがわ市)
2017/10/27	広瀬川橋床版取替工事(宮城県仙台市)
2017/10/30	柳島高架橋工事(静岡県駿東郡小山町)
2017/10/31	港川橋(宮城県本吉郡南三陸町)
2017/10/31	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/10/31	西市3号橋(山口県下関市)
2017/11/6	長門石橋補強3期(福岡県久留米市)
2017/11/7	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2017/11/8	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2017/11/9	柳島高架橋工事(静岡県駿東郡小山町)
2017/11/13	椿川橋上部工事(山梨県南巨摩郡身延町)
2017/11/17	今田高架橋敷内地区上部工(福島県相馬市)
2017/11/17	椿川橋上部工事(山梨県南巨摩郡身延町)
2017/11/17	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/11/22	辰野TN～伊北IC間(長野県上伊那郡辰野町)
2017/11/22	九度山2号橋(和歌山県伊都郡九度山町)
2017/11/28	神田川橋梁(東京都新宿区から豊島区)
2017/12/1	大沢第1橋外上部工(岩手県上閉伊郡大槌町)
2017/12/5	角盤橋作業所(鳥取県日野郡伯耆町)
2017/12/7	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2017/12/13	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2017/12/18	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2017/12/29	古道橋(大分県大分市)
2018/1/16	坊領東橋(鳥取県西伯郡大山町)
2018/1/19	柳島高架橋工事(静岡県駿東郡小山町)
2018/1/23	福岡高架橋グラウト再注入(愛知県豊橋市)
2018/1/25	岩永堀跨道橋(鹿児島県曾於郡大崎町)
2018/1/26	根尾川橋右岸P160橋脚(岐阜県揖斐郡大野町)
2018/1/29	永宮橋(栃木県栃木市野中町地内)
2018/2/2	新小谷木橋下部工P5・P7・P9(岩手県奥州市)
2018/2/6	新横倉橋他(高知県高岡郡越知町)
2018/2/9	今田高架橋敷内地区上部工(福島県相馬市)
2018/2/16	鰐川橋STEP工事(茨城県潮来市)
2018/2/16	浦西線PC軌道桁(H29-2)(沖縄県浦添市)
2018/2/19	新横倉橋(高知県高岡郡越智町)
2018/2/21	鰐川橋STEP工事(茨城県潮来市)
2018/3/12	根尾川橋右岸P160橋脚(岐阜県揖斐郡大野町)

地域とのコミュニケーション

その他のコミュニケーション

プロジェクト名	場 所
・献血	全国事業所
・夏の饗宴～大学をつなぐ音楽の祭典～(協賛)	豊洲シビックセンターホール
・お絵描き会	現場各所
・災害時のボランティア	台風21号被災地域
・ななせの里ふるさと祭り(出店)	古道橋現場付近
・東京湾大感謝祭2017	神奈川県横浜市



夏の饗宴～大学をつなぐ
音楽の祭典～(協賛)



お絵描き会



災害復旧ボランティア



ななせの里ふるさと祭り

オリエンタル白石は
これからも地域との関わりを
大切にしていきます！





OSJBホールディングスグループ
 **オリエンタル白石株式会社**

